

アンリツ株式会社

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測事業のQ2の利益率が高い理由は?

A1: 利益率の高い光トランシーバー向け製造ソリューションの売上が大幅に増えたことが主因です。

Q2: 通信計測事業のQ2の受注高の評価を教えてください

A2: Q2の受注はQ1からは減少しましたが、Q1は一部顧客都合の前倒し需要が含まれておりました。前年度のQ4比においては、Q2の受注は増加しており、好調であったと評価しております。

Q3: CPOや3.2TEへの取り組み状況はどうか?

A3: 測定方法についての仕様を固めている段階です。ビットレートが上がるほど測定の技術的な難易度が上がり、光技術を持つ当社にとって優位になるとみています。

Q4: 高砂製作所ののれん減損について、今後追加で発生するリスクはあるか?

A4: 今回の減損は現時点での合理的と考えられる事業計画、市場環境、将来キャッシュフローなどを前提とした評価です。前提が変われば再評価する可能性が出てきますので、今後も状況をモニタリングしていきます。

Q5: PQA事業のQ2の収益性が高かった理由は?

A5: PQA事業は、四半期売上が70億円程度を超えると利益率が改善する傾向があります。製品ミックスでは、北米向けX線検査装置の高い収益性が寄与しています。